

令和4年3月

荷主企業 各位

国土交通省 九州運輸局 鹿児島運輸支局
(トラック輸送における取引環境・労働時間改善
鹿児島県地方協議会事務局)

トラック輸送における取引環境・労働時間改善鹿児島県地方協議会 において実施した実証実験について（お知らせ）

平素より国土交通行政の円滑な遂行に際しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、トラックドライバーの長時間労働抑制を目的としたトラック輸送における取引環境・労働時間改善鹿児島県地方協議会では、令和2年度に荷主企業様、運送事業者様のご協力のもと、トラックドライバーの長時間労働改善に向けて「馬鈴薯輸送」、「鶏卵輸送」の実証実験を実施しましたのでお知らせします。（概要は別添資料を参照願います）

引き続き、荷主企業様、運送事業者様のご協力をいただきながら、実証実験の実施等長時間労働の改善に取り組んで参りますので、トラックドライバーの長時間労働の改善へ取り組みにご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<本件に関するお問い合わせ先>

国土交通省 九州運輸局 鹿児島運輸支局 TEL : 099-261-9192(ガイダンス番号3)

トラック輸送における取引環境・労働時間改善鹿児島県地方協議会において実施した令和2年度実証実験の概要について

【協議会の目的】

トラック運送事業者、荷主、行政等の関係者が一体となり、トラック運送事業における長時間労働の抑制に向けた諸対策及び取引環境の改善に向けた取組を行うことを目的に、平成27年8月に設置。

【協議会の構成員】

学識経験者、荷主、トラック運送事業者、労働者団体、鹿児島県トラック協会、鹿児島労働局、鹿児島運輸支局、九州農政局

【実施した実証実験】

- 鶏卵輸送における荷卸し箇所削減に向けたパレット化
 - 馬鈴薯輸送におけるパレット化とフェリー利用による長時間労働縮減
- ※概要は次ページ

【参考】「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」について

全国の協議会において実施した実証実験の長時間労働改善等の知見を「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」として取りまとめています。

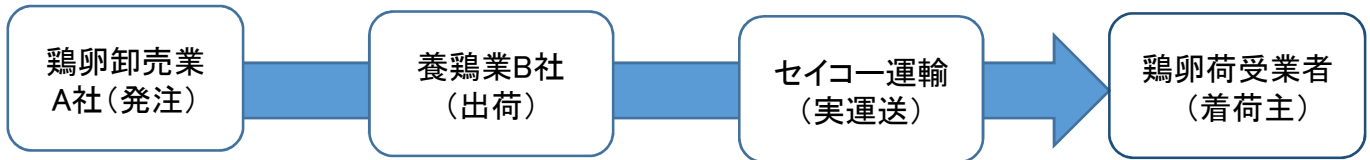
【国土交通省ホームページ】

https://www.mlit.go.jp/jidoshajidosha_tk4_000107.html



鶏卵輸送における荷卸し箇所数削減に向けたパレット化 鹿児島県

1. 実施者の概要



実施者の概要

- 鶏卵卸売業A社は、輸送先である卸業者(問屋)等の要請を踏まえ、荷卸場所など輸送条件を決めている。
- 養鶏業B社は発注内容に基づき、鶏卵を出荷。実運送事業者はセイコー運輸。
- 荷受けする卸業者は対象集団となっていない。
- 荷種: 鶏卵

2. 事業概要

手作業でパレットに荷卸し



リフトで荷卸し



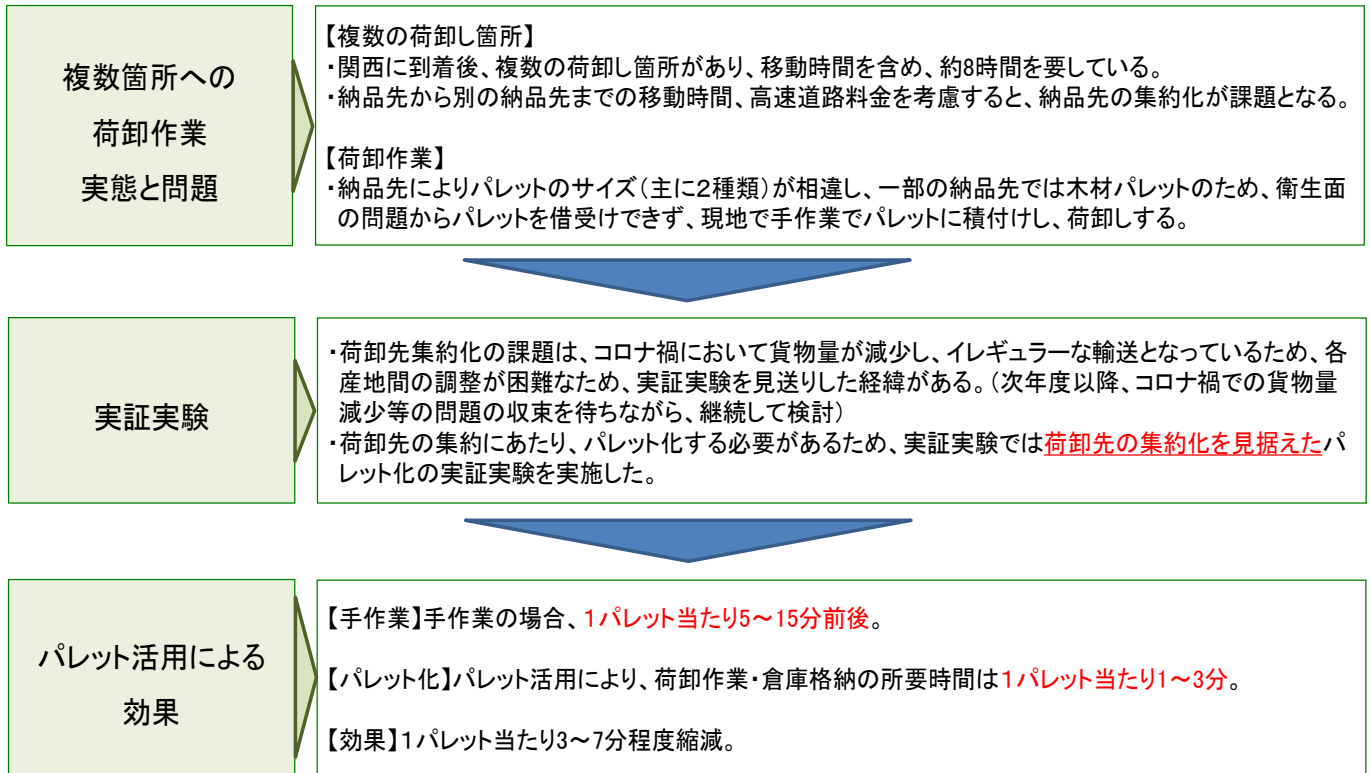
労働時間の増減

改善前

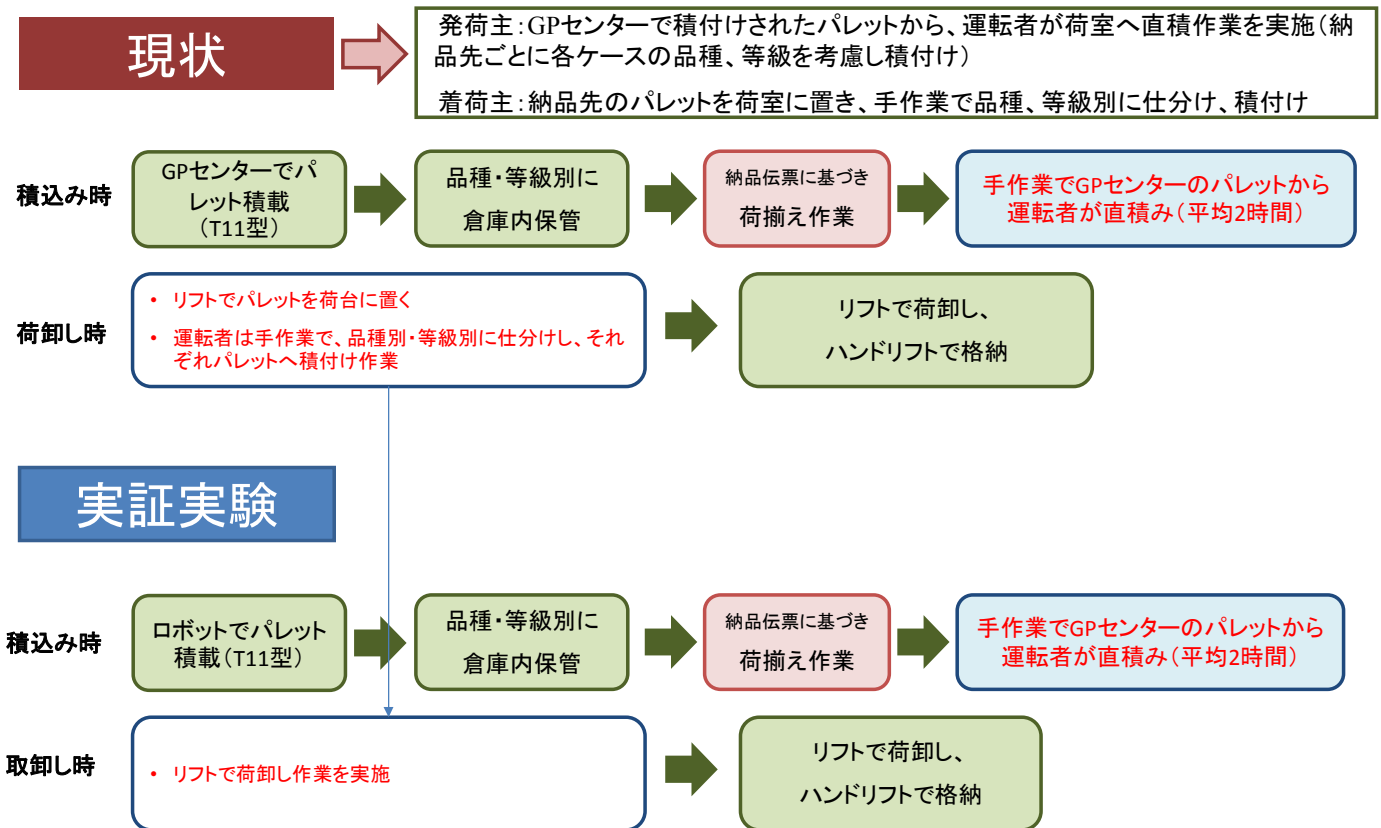
- <運転者>
- 積込作業: 120分
(作業員によるサポートなし)
- 荷卸作業: 1パレット当たり10分~15分
(品種・等級等の仕分け作業により変動)

改善後

- <運転者>
- パレット積付・積込作業: 120分(変化なし)
- 荷卸作業: 1パレット当たり3分(倉庫格納まで)

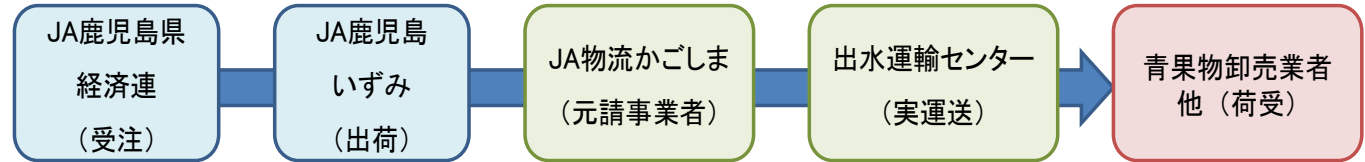


実証実験：積込・荷卸作業のプロセスの変化



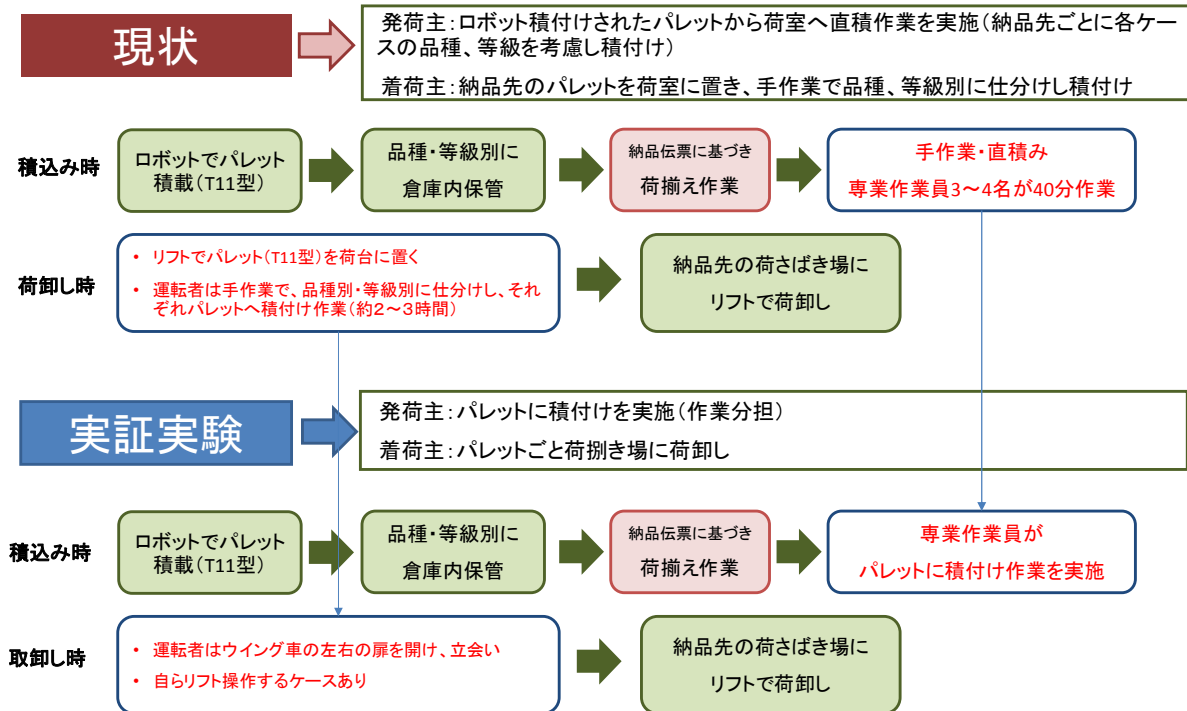
馬鈴薯輸送：パレット化とフェリー利用による長時間労働縮減 鹿児島県

1. 実施者の概要



対象集団	<ul style="list-style-type: none"> ○青果物卸売業者より「JA鹿児島県経済連」が受注を受け、出荷指示。「JA鹿児島いずみ」が出荷。 ○「JA物流かごしま」は元請事業者で、「出水運輸センター」は実運送事業者である。 ○荷受業者(着荷主)の青果物卸売業者は対象集団に入っていない。
荷 種	<ul style="list-style-type: none"> ○輸送品は、「馬鈴薯(赤土バレイショ)」であり、荷種として「農産品」に分類される。 ○鹿児島県長島町における赤土バレイショは約900の農家が供給し、出荷量は年間12,400t。 ○出荷時期は1月上旬～5月下旬の期間(2回)である。
輸送形態	<ul style="list-style-type: none"> ○関東・関西方面への輸送では、フェリーは利用されず、高速道路を利用。
輸送の荷姿	<ul style="list-style-type: none"> ○積載効率を高めるため、荷室に段ボールケースを直積みしている。 ○車両の最大積載量を踏まえ、1車当たり1,200ケース(12t)を積載。 ○これまでパレット活用の試行的な取組みはなされてきたが、現状パレットは活用されていない。

2. 事業概要



3. 事業の実施

積み込み時

パレットへ積付け



10ケース/段×9段=90ケース/パレット(手荷役)

12ケース/段×5段=60ケース/パレット(ロボット)→作業員が上段に積み増し作業を実施

リフトによる積み込み



・正味所要時間

平均60秒×16パレット=16分

積み込み後の荷室



ロボット積付け
端数を上限に積載

パレット崩し後、
新たに積付け

・所要時間:1分/パレット

荷卸し時

・所要時間 平均60秒/パレット

リフトによる荷卸作業、平場への格納



荷痛みチェック



4. 事業の成果

○実証実験による時間縮減効果等は以下の通りである。

積込・荷降作業

改善前

<運転者>

○積込作業(立会い):平均40分/回

○荷卸作業(手作業):平均75分/箇所

<倉庫作業員>

○積込作業 平均40分/回(3~4名)

改善後

<運転者>・・・正味の実質時間

○積込作業(立会い) : 20分/回(▲20分)

○荷卸作業: 30分/箇所(▲45分)

(リフト操作、立会い)

<倉庫作業員>

○パレット積付け作業 20分/回(▲20分)

専業作業員4名×20分=80分(複数の品種・等級、端数への対応)

運行

改善前

【鹿児島→関東方面】

○フェリー利用せず 20時間15分

○休息期間 8時間30分

改善後

○フェリー利用 14時間45分(▲5時間30分)

○休息期間 12時間45分(+4時間15分)